

化石の宝庫 山口県美祢市を訪ねて

尾上 亨（地質標本館）

Toru Onoe

はじめに

美祢市は、かつて良質の無煙炭を産することでわが国第一の大嶺炭田を有し、また、無尽蔵にある石灰岩の採掘が行われるなど、地下資源が豊富なことで知られていました。そのうち炭田は石油と輸入炭に押されて閉山の憂き目にあいましたが、石灰岩を原料とした産業はますます盛んになっています。一方、同市には日本の中・古生代の標準層序が発達しており、特に化石の宝庫として専門家の間では無視することのできないところです。

この美祢市産の化石について最近マスコミで話題になり、一般にも広く知られるようになりました。平成元年3月1日夜7時のNHKテレビニュースは「世界的にも珍しい大型の植物化石が美祢市桃ノ木の道路工事現場から発見された」と報じました。同じ話題は3月3日の朝日新聞朝刊の社会面でも「2億年前の一枚化石」の見出しで、実物の写真入りで紹介されました。次いで3月8日、NHKテレビのニュース番組モーニング・ワイドで上記化石産地から2億年前の昆虫化石が大量に発見されたことを、さらに3月22日のモーニング・ワ

イドでは、この昆虫化石の本格的調査が始まり、現在までにおおよそ50種が明らかになったこと、その中には今回新たに発見されたハエの化石があり、それは世界で最も古いものであるというトピックが伝えられました。

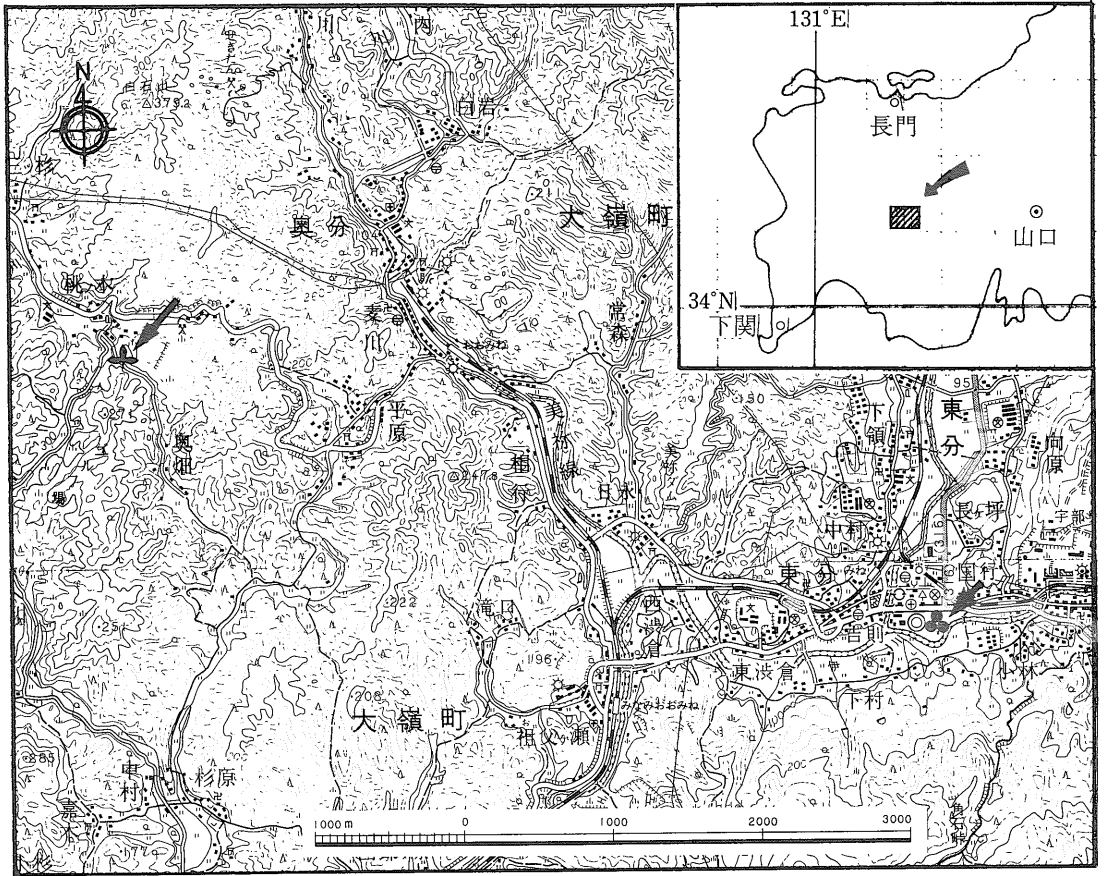
このように度々の報道で皆さんの記憶に新しいことと思いますが、私もちょうどタイミング良く美祢市を訪問する機会を得て、化石の産地を見学することができました。さらに、化石が保管されている美祢市歴史民俗資料館からも関連資料をいただけてきましたので以下にご紹介します。

2億年前の化石

今回報道された植物化石と昆虫化石は、山口県美祢市桃ノ木の（第1図）国道435号線バイパスの工事によって大きく削られた三疊紀の美祢層群桃ノ木層（写真1）から産出したものです。桃ノ木層はかつて大嶺炭田として無煙炭を採掘していた主要炭層を挟んでおり、その炭層に伴ってこれまでにコケ類・トクサ類・シダ類・ソテツ類・イチョウ類・球果類などおおよそ100種類に及ぶ植物化石の産出が知られていました（美祢市，1982）。



写真1 植物化石の大型標本や昆虫化石が産出した露頭



第1図 位置図(国土地理院1982年発行5万分の1地形図「西市」及び「厚狭」の一部を使用)
 ✚ 植物化石の大型標本が産出した露頭 🏠 美祢市歴史民俗資料館

この化石産地から採集された「一枚化石」と呼ばれる標本は 表面の大きさが縦2.9m、横2mに及ぶ巨大なもので その表面はシダ類・イチョウ類などがいっぱい印象されています。この超大型標本は現在美祢市歴史民俗資料館の収蔵庫に保管されており 展示される日が待たれます。この標本のほかにも大型の標本が数点あり 美祢市教育委員会のお取り計いでその一つを地質標本館に寄贈していただけることになりました。

昆虫化石については これまでにも日本最古のゴキブリの化石(写真2)が発見されているほか カゲロウ類・ウンカ類などの化石が知られていました。今回発見されたハエの化石は約5mmの大きさで これまでに三畳紀より古い地層からハエの化石は発見されていないので世界最古の化石と考えられ 合わせて約50種に及ぶ昆虫化石は 整理されれば世界的にも貴重な標本になるとのことです。この化石産地はこれから更に7mも掘り下げる予定になっており 新たな発見が期待されています。



写真2 日本最古のゴキブリ化石



写真3 美祢市歴史民俗資料館



写真4 岡藤五郎先生の胸像

美祢の化石を紹介するにあたって故岡藤五郎先生(1924~1978)を抜きに語ることはできません。先生は大嶺高等学校で教鞭を執る傍ら 30余年にわたって精力的に化石の採集を行ってこられ その数は10万点にも及んでいます。その中には学術的に貴重な標本が多くその大部分は美祢市歴史民俗資料館に保管されていますが 国内外の大学・博物館などに寄贈された標本も少なくありません。地質調査所にも岡藤先生から寄贈された植物化石があり その一部は地質標本館第4展示室に陳列されています(神戸はか, 1989)。また 岡藤先生は「化石の先生」と多くの人に尊敬され教育面に大きく貢献されました。その証として 昭和39年山口県科学教育功労賞を受賞されたのをはじめ数々の賞を受けておられます。

岡藤先生は昭和53年夏 化石採集中に突然倒れ 不帰の人となりました。かけがえのない人を亡くし その急逝が惜まれています。

前述の美祢市歴史民俗資料館は美祢市が岡藤先生の意思にそって建設したもので 館内には先生の集められた多くの資料・標本が展示されています。

美祢市歴史民俗資料館

同資料館(写真3)はJR 美祢線の美祢駅から徒歩でおおよそ5分 美祢市役所の東隣にあります(第1図)。資料館の入口を入るとすぐ左手に故岡藤五郎先生の胸像(写真4)があり 30余年にわたり化石の研究に心魂を傾けるなど斯界に貢献し従五位勲五等瑞宝章ほか幾多の賞を受けられたことが記されています。

展示場は1階と2階に分けられています(第2図)。

1階の古生代コーナーでは まず入口に美祢市於福町の正片麻岩(orthogneiss)の大型標本が置かれています。これは 花崗岩から変成(変形)してできた日本でも数少ない正片麻岩で 変成年代は約4億2400万年前(古生代シルル紀)とされています。現在 この正片麻岩は天然記念物として美祢市指定の文化財になっています。

古生代の化石コーナーでは 主として美祢市内に分布する秋吉石灰岩層群(石炭紀—二畳紀)から産出したフズリナ類(写真5)・サンゴ類(写真6)・腕足類・アンモナイト類・三葉虫類・コケムシ類・コノドントなど日本列島のルーツを知る手掛りとなる化石が展示してあります。

中生代コーナーではシダ類・イチョウ類・トクサ類など美祢層群桃ノ木層から産出した代表的な植物化石(写真7~9)が豊富に陳列してあり 中には世界的にも珍しい葉の長さが約2mにも及ぶシダの化石をつけた超大型標本(写真10)をはじめ 大型標本が数点含まれており これらは当館の目玉とも言える見事なものです。

また 日本最古の昆虫化石オカフジムカシゴキブリは小型ですが貴重な標本です。

2階に上がるとまず左手に鉱山コーナーがあり 炭鉱の坑道をかたどった入口(写真11)を入ると 中にはかつて無煙炭の採掘ではわが国最大の炭田であった大嶺炭田で使われた採炭用具や 採掘当時の写真などが陳列されています。

秋吉石灰岩中にある多くの洞穴や裂け目に堆積した更新統からは哺乳動物の化石が多数発見されており 新生代コーナーでは日本では唯一と言われるライオンの化石(写真12)をはじめトラ・サイ・ゾウ・シカ・コウモリ

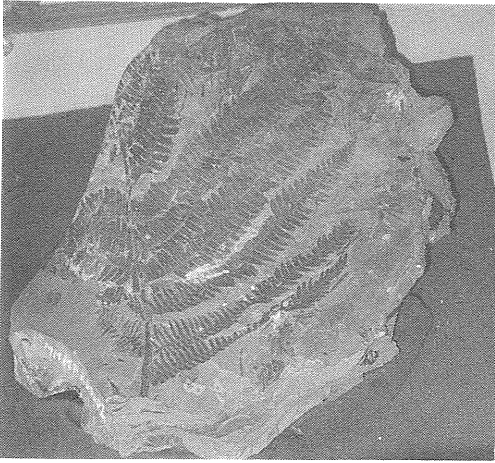


写真7 胞子のついたシダの化石
Asterotheca okafujii KIMURA & OBANA



写真8 トクサ類の化石
Neocalamites carrerei (ZEILLER)



写真9 イチョウ類の化石
Baiera lindleyana (SCHIMPER)
Ginkgoites sibirica (HEER)



写真10 葉の長さが2 mに及ぶシダの化石
Cladophlebis raciborskii ZEILLER

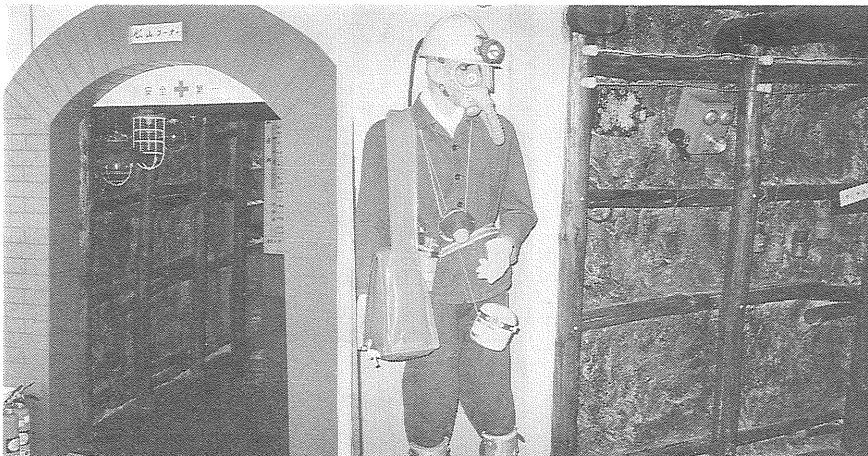


写真11 鉱山コーナーの入口

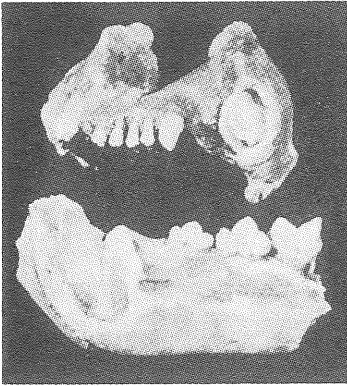


写真12 ライオンの化石

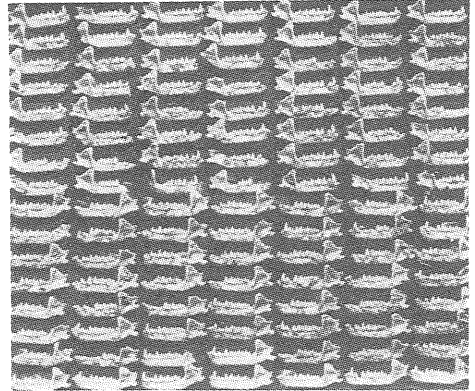


写真13 コウモリの下顎の化石

(写真13) などの化石も陳列されています。

埋蔵文化財コーナーには美祢市内の遺跡から発掘された石器・土器類が 歴史民俗資料コーナーには民具・農具類と かつて家庭常備薬として親しまれていた伊佐売薬に関する製薬用具・行商用具などが並べられています (美祢市歴史民俗資料館, 1981)。

なお 同資料館では美祢市歴史民俗資料館調査研究報告や 化石の解説をした小冊子「美祢の化石」(写真14)を発行するなど広く教育活動に寄与しています。

今回 資料館を案内して下さった岡藤嘉江さんが故岡藤五郎先生の奥様であられたと伺い 岡藤先生の心のこもった多くの資料・標本に囲まれて教育活動に従事されている姿に感銘を受けました。

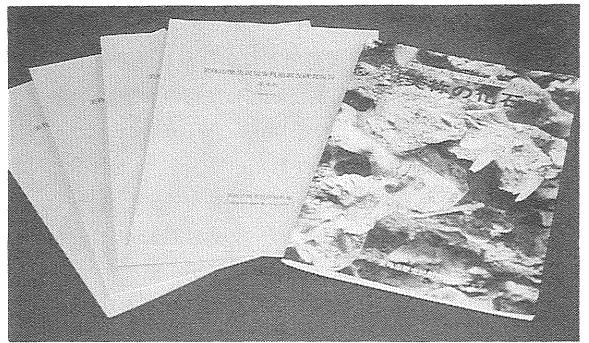


写真14 美祢市歴史民俗資料館で発行されている印刷物

大変お世話になりました。以上の方々に厚く御礼申し上げます。

美祢市から寄贈していただいた植物化石の大型標本は平成元年4月14日に無事地質標本館に到着しました。これから化石の表面をおおっている岩石を取り除く(クリーニング)作業を行い、その後一般に公開されることとなります。その時には またこの紙面をかりて紹介したいと思います。

文 献

- 神戸信和・佐藤喜男・尾上 亨 (1989): 地質標本館だより 化石の一般分類展示 その2. 中生代 地質=ニュース no. 416 p. 45~59.
- 美祢市 (1982): 美祢市史 第1編 太古の美祢 188p.
- 美祢市歴史民俗資料館 (1981): 美祢の化石 39p.

～美祢市歴史民俗資料館観覧案内～

入場料 個人 一般100円 小・中学生50円
 団体 (20名以上) 一般 80円 小・中学生30円
 開館時間 午前9時～午後5時
 休館日 月曜日・祝日 (ただし月曜日が祝日の時はその翌日)・12月29日～1月3日
 所在地 〒 759-22
 山口県美祢市大嶺町東分字前川279番の1
 電 話 08375-3-0189

おわりに

美祢市には短時間の滞在で十分な説明はできませんでしたが、少しでも「化石の宝庫」について理解していただければ幸いです。美祢市歴史民俗資料館では 顧問をしておられる佐賀大学の西田民雄先生 前館長の阿野栄さん 学芸員の高橋文雄さん、そして岡藤嘉江さんに

1989年7月号